

司法試験受験（ロースクール進学）には一定のリスクを伴う。このリスクに対応するため、学部在学中に「役に立つ資格」を取得しておくことが好ましい。そうした観点から、「2年冬=宅建士合格、3年冬=行政書士合格、4年夏=ロースクール合格」が推奨コースであり、垂大法にもこうした資格を手にした上でロースクールに進学した先輩が存在する。

1年春学期	⇒	憲法Ⅰ（人権）	+	民法Ⅰ（総則）	+	オリゼミ	～	スタートが何よりも大事！。憲法Ⅰ、民法ⅠともA以上の成績を取れるように努力せよ！		
1年秋学期	⇒	憲法Ⅱ（統治）	+	民法Ⅳ（債権各論）	+	刑法Ⅰ（総論）	+	基礎演習	～	刑法Ⅰを好きになれるかは司法試験合格のポイント。基礎演習は、後に履修する予定科目の担当者を選択するとよい。
2年春学期	⇒	民法Ⅱ（物権）	+	刑法Ⅱ（各論）	+	会社法	+	行政法Ⅰ（作用法）	～	行政法は、行政書士・公務員・司法試験のいずれの試験においても重要。
2年秋学期	⇒	民法Ⅲ（債権総論）	+	行政法Ⅱ（救済法）	+	法律実務	～	法律実務で法律職・仕事の内容につきイメージ確立。 (10月宅建士試験受験⇒11月合格！)		
3年春学期	⇒	民法Ⅴ（親族）	+	民事訴訟法	+	刑事訴訟法	+	専門演習Ⅰ（前半）	～	訴訟法科目（民訴法、刑訴法）は、最終的に司法試験の合否を分ける重要科目。専門演習は、ロースクール受験に強いゼミを選択。
3年秋学期	⇒	民法Ⅵ（相続）	+	専門演習Ⅰ（後半）	～	民法Ⅵ（相続）まで学んで民法学修ようやく完了。この時点で法律基礎科目全体もほぼ完了。(11月行政書士試験受験⇒翌年1月合格！)				
4年春学期	⇒	専門演習Ⅱ（前半）	～	ロースクール受験に向け、ゼミ担当者の指導を受けつつ準備。(夏、ロースクール受験)						
4年秋学期	⇒	専門演習Ⅱ（後半）	～	(秋、ロースクール合格判明！)。引き続きゼミ担当者の指導のもと入学準備学習。ロースクールでの学修もスタートが何よりも大事。						